

JSF (Java Servlet Faces)

・コスト

オープンソースで誰でも使用可能です。ただし、JavaEEの開発環境セットを用意した場合はコストがかかります。そのため比較の表では△にしています。

・開発効率

JSFは、JSR127 (Javaコミュニティプロセス) で仕様策定されている標準フレームワークです。そのため、ツールベンダーが開発支援ツールを開発しやすく、プログラミングもスムーズに行うことが出来ます。また、従来のリクエスト駆動型のMVC Webフレームワークとは違い、コンポーネントベースのアプローチをとっています。

・メンテナンス性能

最新バージョンは、2013年5月にリリースされたJSF2.2です。ですが、JSFのためのWebテンプレートエンジンの存在があるうえ、JavaEEの仕様として採用されているため、今後もサポートが続きます。

・特徴

JavaEE環境で動作する、ユーザーインターフェイスフレームワークです。大きな特徴としては、MVCモデル2かつ、UIコンポーネントでWebページを構成することです。

Play Framework

・コスト

オープンソースで誰でも使用可能です。

・開発効率

環境構築が容易ですぐに開発に着手することが可能です。また、フルスタックFrameworkのため、ライブラリの相性を気にすることなく開発することが出来ます。業務システムよりはWebサービスで力を発揮します。

メンテナンス性能

RubyとPythonのフレームワークの良い所取りをしており、Ruby on Railsの特徴であるDRY原則に基づいている、コードの重複を避ける設計がされているため、非常にメンテナンスが行いやすい洗礼されたコードを記述することが可能です。

・特徴

Play Frameworkは、バージョン2.xはScalaで記述されているため、JavaとScalaで使用可能な点と、IDEに依存しない点が大きな特徴と言えます。

Deopwizard

・コスト

オープンソースで誰でも使用可能です。

・開発効率

Dropwizardはフレームワークでもあり、ライブラリでもあります。そのため、フレームワークではなく、ロジックとして開発することが可能です。また、APサーバが不要なため、ファイルに置き換えることにより容易にWebサービスを動作させることが可能です。

・メンテナンス性能

まだまだ日本での使用事例がないため、比較の表では△と表記しています。英語が出来るのであれば、機能を再利用可能なライブラリとして抽出することが可能なため、メンテナンス負荷が軽減されます。

・特徴

Dropwizardは、サーブレットコンテナを内蔵しているのでtomcat等のサーバを別で用意しなくても良い点と、アプリケーションをjarファイルとyamlファイルを置き換えて起動させるデプロイ方法が大きな特徴です。

